

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公開番号】特開2012-214712(P2012-214712A)

【公開日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-046

【出願番号】特願2012-53580(P2012-53580)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 M 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月9日(2015.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリイソシアネート、酸基を有さないポリエーテルポリオール、及び酸基を有するジオール、のそれぞれに由来するユニットを有するポリウレタン樹脂と、前記ポリウレタン樹脂とは異なる樹脂によって分散されてなる顔料を含有するインクジェット用インクであって、

前記酸基を有さないポリエーテルポリオールが、ポリエチレングリコール、ポリプロピレングリコール、ポリ(1,2-ブチレングリコール)、及びポリ(1,3-ブチレングリコール)から選ばれる少なくとも1種を含み、かつ、その数平均分子量が450以上4,000以下であり、

前記ポリウレタン樹脂中のウレタン結合の占める割合(mol%)が、前記ポリウレタン樹脂中のウレア結合の占める割合(mol%)に対して、mol比率で85.0/15.0以上98.5/1.5以下であり、

前記酸基を有するジオールが、ジメチロールプロピオン酸及びジメチロールブタン酸から選ばれる少なくとも1種であり、

前記酸基を有するジオールに由来するユニット全量のうち、前記ポリウレタン樹脂の末端に存在する酸基を有するジオールに由来するユニットの割合(mol%)が、10mol%以上60mol%以下であり、

前記酸基を有するジオールに由来するユニットに基づくポリウレタン樹脂の酸価が、40mgKOH/g以上140mgKOH/g以下であることを特徴とするインクジェット用インク。

【請求項2】

前記酸基を有さないポリエーテルポリオールが、ポリプロピレングリコールを含む請求項1に記載のインクジェット用インク。

【請求項3】

前記インク中の前記ポリウレタン樹脂の含有量（質量%）が、前記顔料のインク全質量を基準とした含有量（質量%）に対して、質量比率で0.05倍以上2.00倍以下である請求項1又は2に記載のインクジェット用インク。

【請求項4】

前記ポリウレタン樹脂の重量平均分子量が、30,000より大きく150,000以下である請求項1乃至3の何れか1項に記載のインクジェット用インク。

【請求項5】

前記インク中の前記ポリウレタン樹脂の含有量（質量%）が、インク全質量を基準として、0.1質量%以上10.0質量%以下である請求項1乃至4の何れか1項に記載のインクジェット用インク。

【請求項6】

前記ポリウレタン樹脂に占める、前記酸基を有さないポリエーテルポリオールに由来するユニットの割合（質量%）が、0.1質量%以上80.0質量%以下である請求項1乃至5の何れか1項に記載のインクジェット用インク。

【請求項7】

前記ポリウレタン樹脂中の、ポリエーテルポリオールに由来するユニット全量に占める、前記酸基を有さないポリエーテルポリオールに由来するユニットの割合（mole%）が、80mole%以上100mole%以下であることが請求項1乃至6の何れか1項に記載のインクジェット用インク。

【請求項8】

インクを収容するインク収容部を有するインクカートリッジであって、前記インク収容部に収容されたインクが、請求項1乃至7の何れか1項に記載のインクジェット用インクであることを特徴とするインクカートリッジ。

【請求項9】

インクをインクジェット方式で吐出する工程を有するインクジェット記録方法であって、前記インクが、請求項1乃至7の何れか1項に記載のインクジェット用インクであることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項10】

顔料及びポリウレタン樹脂を含有するインクをインクジェット方式の記録ヘッドから吐出させて記録媒体に付与する工程、及び、前記インク中の前記顔料の分散状態を不安定化させ、かつ、前記ポリウレタン樹脂の溶解性を低下させる液体組成物を前記インクと少なくとも一部で重なるように記録媒体に付与する工程を有するインクジェット記録方法であって、前記インクが請求項1乃至7の何れか1項に記載のインクジェット用インクであることを特徴とするインクジェット記録方法。